

## 兵庫県豊岡市 Newsletter | 2023年2月

兵庫県の北部、但馬地域に位置する豊岡市の2022年より今冬までの最新ニュースをご案内します。

---

### ・豊岡市観光公式サイト・豊岡市スマホ観光ナビ 1月新規開設

市内観光に便利な公式サイトとスマートフォンシステムを新たに開設しました。

### ・玄武洞公園リニューアルOPEN/基本設計をケース・リアルが担当

豊岡市の観光名所の一つである「玄武洞公園」が、リニューアルオープン。圧倒的な雄大さと迫力をより深く体感できる設計が実現し、心地よい時間を過ごせる公園へと生まれ変わりました。

### ・神鍋高原スキー発祥100周年

神鍋高原でスキーの初滑りが行われてから、今年で100周年を迎えます。西日本で最も長い歴史を誇るスキー場は、次世代に向けてさまざまな取り組みを進めています。



玄武洞公園 写真：水崎 浩志

# 豊岡市観光公式サイト・豊岡市スマホ観光ナビ 1月新規開設

## 豊岡市観光公式サイト

2023年1月18日（水）、豊岡市観光公式サイトをオープンしました。豊岡市の魅力・観光スポット・モデルコースの紹介、現地イベント情報、コラム記事など、旅前や現地での情報収集に役立つ、さまざまなトピックを紹介しています。

- コンテンツ：
- ・おすすめ 観光スポットの「楽しみ方」紹介記事（70記事）
  - ・モデルコース 豊岡市内周遊を満喫できるモデルコース（30コース）
  - ・体験 豊岡市および周辺で体験できるアクティビティやイベントなどの紹介記事
  - ・イベント イベント情報
  - ・エリア紹介 各エリアの情報
  - ・豊岡を知る ニュース、コラム記事
  - ・スポット情報 観光スポットの紹介（130箇所）
  - ・アクセス アクセス情報

公開日： 2023年1月18日（水）  
URL： <https://toyooka-tourism.com>

## 豊岡市スマホ観光ナビ

2023年1月10日（火）、豊岡市スマホ観光ナビをオープンしました。市内の魅力溢れる観光スポットの紹介や来訪スタンプ獲得をはじめ、旅の記録を残せる機能、デジタル外湯券や各種クーポンの取得など、周遊や再来訪に便利でお得な情報を発信しています。

- 機能：
- ・利用者のタイプ別おすすめスポットの紹介  
（タイプ：1. 効率的に有名スポットを楽しむライトタイプ 2. 土地の文化や食を探索するディープタイプ）
  - ・市内飲食店、物産店等で使えるお得なクーポンの取得（運用開始時は約50店舗）
  - ・観光スポットでのデジタルスタンプの取得（市内約60スポット）
  - ・取得スタンプ数によるデジタルバッジの取得
  - ・旅行の足跡を振り返ることができる機能（訪問順に観光スポットを画面表示）
  - ・城崎温泉のデジタル外湯券（既存の外湯券のQRコードをアプリに取り込みスマートフォンで利用可能）

公開日： 2023年1月10日（火）  
利用方法： URLよりアカウント作成後利用可能（アプリのダウンロードは不要）  
URL： <https://app.toyooka-travel.com/>  
\*GPS、QRコード等を使用する機能を搭載しているため、スマートフォンでの操作推奨



豊岡市観光公式サイト トップイメージ



豊岡市スマホ観光ナビ 画面イメージ

## 玄武洞公園リニューアルOPEN／基本設計をケース・リアルが担当

2022年8月1日（月）、豊岡市の観光名所の一つである「玄武洞公園」がリニューアルオープンしました。「山陰海岸国立公園」および「山陰海岸ジオパーク」に含まれる「玄武洞公園」には、5つの洞（玄武洞、青龍洞、白虎洞、北朱雀洞、南朱雀洞）が存在します。中でも、玄武洞と青龍洞は、国の天然記念物に指定されています。

今回のリニューアルでは、基本設計を二俣公一率いるケース・リアル、実施設計をキタイ設計、松田一級建築士事務所が担当。周辺の景観を最大限に活かしながらも、「玄武洞公園」の圧倒的な雄大さと迫力を感じられる設計が実現しました。新しい価値を創造することで、心地よい時間を過ごせる空間が誕生しています。

玄武洞、青龍洞前には観覧用の基壇（ステージ）やベンチを設置し、目の前に広がる迫力ある洞を見上げるように、自然とゆっくりと対峙できる場所が新たに完成したほか、広場や園路、エントランスの整備により回遊性も向上しています。また、玄武洞の成り立ちや地質学上の意義などを説明する展示の改修に加え、夜間ライトアップや豊岡演劇祭などのイベントも開催され、魅力をより深く体感できる公園へと進化しています。

「玄武洞公園」は、地質学的な価値が非常に高く、2022年10月には世界の地質を研究する「国際地質科学連合」が、地球上の歴史や地球科学を解明する上で重要な役割を果たした地形を選定した「地質遺産100選\*」に「玄武洞」が選定されました。玄武洞の玄武岩から地磁気逆転現象が発見されたことをはじめ、国際的重要性を有する地であること、山陰海岸ユネスコ世界ジオパークに登録されていることが評価され、33名の国際的専門家により選出されました。



写真：水崎 浩志

基本設計：ケース・リアル 二俣 公一 下平 康一 柴田 りつ  
実施設計：キタイ設計、松田一級建築士事務所  
施工：土木工事／中川工務店、建築工事／セイワ、建築監理／伸栄  
照明計画：BRANCH LIGHTING DESIGN 中村 龍基  
サイン計画・グラフィックデザイン：BOOTLEG 尾原 史和 福田 拓真  
写真：水崎 浩志

### \*地質遺産100選

世界最大の化学組織「国際地質科学連合」が、設立60周年を記念し、スペイン バスク海岸で開催した大会（10/25～10/28）で、第一回「地質遺産100選」を選定。40カ国及び10の国際機関に所属する250名以上の専門家が参加し、地球とその歴史の理解に対してインパクトがあると認めた世界中の地質遺産地点を選び、命名していく試みとして始まりました。100選には、56カ国181の候補地の申請の中から、グランドキャニオン（米国）やエベレスト山頂の海洋岩石（中国・ネパール）、エアーズロック（豪州）などが選定されました。日本からは玄武洞のほかに野島断層（淡路市）も選ばれています。

玄武洞公園ホームページ：<https://genbudo-park.jp>

## 神鍋高原スキー発祥100周年

大正12年（1923年）、当時の兵庫県西気村長だった中島久太郎氏が単身で神鍋山を踏査し、雪原をスキーで初滑走してから、今年で100年目を迎えます。アップかなべ・万場・奥神鍋の3つのグレンデで構成される神鍋高原スキー場では、初心者から中・上級者までオールラウンドな滑りが楽しめます。各グレンデへ車で5～10分程度で移動可能なアクセスの良さと、近隣にある神鍋温泉で疲れた身体を癒すことができるのも魅力です。

現在、神鍋高原では自然環境の変化に伴うさまざまな課題に直面しています。2023年1月には、100年後にも雪が残る観光地として存続するための決意表明として、「神鍋高原ゆきみらい100年宣言」を発表しました。また、次の100年の在り方を「気候変動と観光」をテーマに考察するセミナー「気候変動×観光について考える@神鍋高原」の定期開催や、100周年を記念したSNSハッシュタグキャンペーンを実施。西日本で最も歴史あるスキー場は、未来に向けてさまざまな取り組みを進めています。



### <神鍋高原ゆきみらい100年宣言>

恵まれた自然共存してきた神鍋高原は、気候変動による降雪量の減少や、異常気象による農作物被害など、自然環境の変化に伴う課題に直面しています。100年後にも雪が残る観光地として存続するための決意表明として、4項目を主軸とした「神鍋高原ゆきみらい100年宣言」を発表しました。

#### 1. カーボンニュートラルの実現

観光に関する温室効果ガスの排出量を2030年までに50%以上削減することを目標に変革を進め、2040年代のカーボンニュートラルの実現を目指す

#### 2. サステナブルな観光地づくり

快適に楽しく過ごせることを前提に、世界で高まるサステナブルな観光へのニーズに応え、神鍋高原を訪れる人が気候変動に対する気づきを得て、行動変容を促すことができる地域を目指す

#### 3. 自然の再生と地域資源の活用

エネルギーや消費と生産に関する仕組みづくりにおいて、地域資源を活用しながらネイチャーポジティブを実現し、環境負荷の低減と魅力的な環境振興の整合性がとれる方法を積極的に採用する

#### 4. 学びと挑戦

行政・専門家・事業者・市民の方々と共に学び、2023年内に先駆的な具体的な行動計画を策定し、持続可能な仕組みへの転換に向けて挑戦し続ける

「神鍋高原ゆきみらい100年宣言」詳細：<https://www.city.toyooka.lg.jp/shisei/kohokocho/news/1021349/1024901.html>

### <気候変動×観光について考える@神鍋高原>

神鍋高原では、「Climate Integrate（クライメート・インテグレート）\*」と共に、気候変動と地域の発展に関する課題や可能性について共に考え、話し合いを進めるセミナー「気候変動×観光について考える@神鍋高原」を定期開催しています。

#### 参考/過去の開催概要

##### 「気候変動×観光について考える@神鍋高原 vol.1」

テーマ： 気候変動と自然環境の現状

講師： Climate Integrate 代表理事 平田 仁子、共同通信社 編集委員兼論説委員 井田 徹治

アーカイブ動画：<https://youtu.be/BM5mQeyelmU>

##### 「気候変動×観光について考える@神鍋高原 vol.2」

テーマ： 地域資源の活かし方

講師： 株式会社クレアン（元北海道下川町職員） 蓑島 豪  
東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科 教授 三浦 秀一

アーカイブ動画：<https://youtu.be/vVPkuOHcEds>

##### 「気候変動×観光について考える@神鍋高原 vol.3」

テーマ： スキーヤー・スノーボーダーから見る気候危機と具体的な行動事例

講師： POW JAPAN代表 小松 吾郎、筑波大学大学院 生命環境科学研究科 吉澤 直

アーカイブ動画： 準備が整い次第公開予定

\*Climate Integrate：市民・政府・企業セクターそれぞれの脱炭素化に向けた行動を加速させ、公正で持続的で平和な社会を実現することを目指すシンクタンク

## <神鍋高原スキー発祥100周年 SNSハッシュタグキャンペーン>

神鍋高原スキー発祥100周年を記念し、2023年7月19日まで日高神鍋観光協会のInstagram・Twitterの公式アカウントで、神鍋高原スキー場リストシーズン券や地域特産品が当たるハッシュタグキャンペーンを実施しています。

実施期間：2022年7月20日（水）～2023年7月19日（木）

概要詳細URL：<https://hidaka.kannabe.info/information/kannabe-ski100th/>

### 【参考情報】

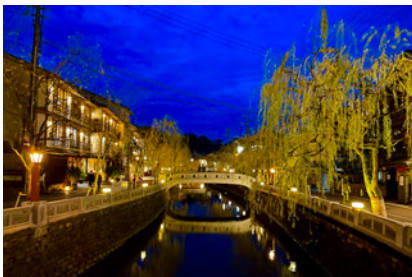
#### 豊岡市

兵庫県の北部（但馬地域）に位置する豊岡市は、2005年4月に1市5町（豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町）が合併して生まれました。面積は、兵庫県で最も広い697.55km<sup>2</sup>を誇ります。市域は、山陰海岸国立公園、山陰海岸ジオパークに含まれ、自然豊かな環境が多彩な四季を織り成しています。市内では、一度姿を消した国指定の特別天然記念物・コウノトリを人里近くで野生復帰をさせるという、世界に例を見ない取り組みを市民と行政が一体となって行い、「コウノトリとの共生社会」を推進しています。また農林水産業、観光業などが盛んなまちとしても知られるほか、地場産業として、全国の4大産地の一つである鞆の生産や現代の白磁と言われる出石焼の生産も行われています。観光業では、全国的に有名な城崎温泉をはじめ、西日本屈指の神鍋高原スキー場、出石城下町などを有し、年間の観光客は約400万人にのぼります。近年では演劇を用いたまちづくりも推進。2014年設立の「城崎国際アートセンター」をはじめ、演劇手法を取り入れたコミュニケーション教育の導入や、2019年からは「豊岡演劇祭」を開催、2021年には芸術文化と観光が学べる大学「芸術文化観光専門職大学」が開校するなど、さまざまな取り組みを広げています。

ホームページ：<https://www.city.toyooka.lg.jp>

Twitter：[@kouhou\\_Toyooka](https://twitter.com/kouhou_Toyooka)

Instagram：[@toyookacity](https://www.instagram.com/toyookacity)



城崎温泉



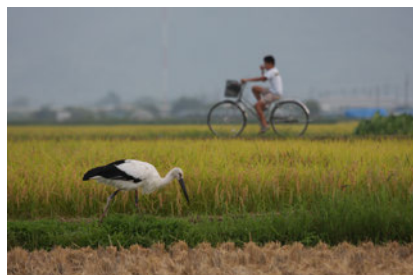
有子山稲荷神社参道



出石城下町



城崎国際アートセンター  
©Madoka Nishiyama



コウノトリ



豊岡鞆

掲載・取材に関するお問合せ先

HOW INC.

Email. [pressrelease@how-pr.co.jp](mailto:pressrelease@how-pr.co.jp)

Tel. 03-5414-6405